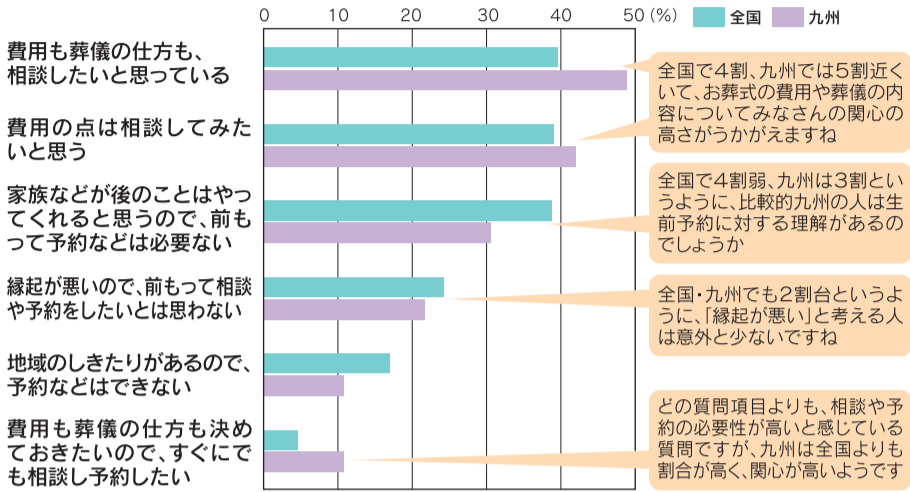


暮らし

「いざ」という時に備えて

生前予約についての考え 全国1125人が回答、九州は78人が回答



お葬式の“生前予約”

～みんな気になる、もしものときのこと～



最近、よく耳にするお葬式の「生前予約」という言葉。亡くなったときのことを生きている今考えるなんて、縁起でもないと思う人もいるかもしれません。でも、急なお葬式での失敗、後悔したという話を周囲から聞くと不安になりますよね。今回はこの「生前予約」について考えてみます。

考え・意見 (アンケートから抜粋)

- ★もし、本人がよいというなら予約してもよいと思う
- ★すぐ相談はしないが、費用、葬儀の仕方についての知識は本や講座で得たいと思っている
- ★あらかじめ相談しておきたい。まだ元気が、もしものときは困るので
- ★急にあわてなくて済むように、家族の意向を聞いて相談したいと思う
- ★まだ自分の両親がそのような気持ちではないので、言い出しにくい
- ★親に「どうしてほしいか」と質問しているが、怒ってしまう
- ★自分のことは相談しても、自分以外の家族のことは相談できない
- ★前もって必要とは思いますが、実際には相談しないと思う
- ★今のところ考えていない

お葬式の生前予約とは…

葬儀の内容や予算のことを事前に決定して葬儀社に依頼すること。自分が亡くなったときに依頼内容に基づいて葬儀を執り行ってもらいます。

では、実際のところ、みなさん「生前予約」について、どのように思っているのでしょうか？



ご紹介した意見はごく一部ではありますが、「まだ先のこと」、「いずれ」、「すぐには必要ない」、「時期をみて」というように、必要とは思っていてもなかなか行動するまではいかないという意見が全体的に多いようです。確かに予約となると、いろいろと覚悟がいるかもしれませんが、普段から家族で「自分のときはこうしてほしい」という話し合いをすることや、話しやすいように家族でお葬式に関する情報を蓄えておくことが大切のようです。

グラフ、意見：(財)日本消費者協会 第8回「葬儀についてのアンケート調査」報告書より

知る得る なるほど! お葬式講座

お葬式で～生前予約のススメ～ 後悔しないために

第3回

「急なお葬式で、事前に準備をしていなかったせいで、後悔した」、「葬儀社任せになり、費用や内容のことで後悔した」という経験はありませんか？事前準備をして後悔しなくて済むなら、「万が一のこと」を考えるのは決して縁起が悪いことではありません。くまもと県民葬祭の森さんに、葬儀の事前準備について伺いました。



くまもと県民葬祭 森 輝和 社長

事前にもっと準備をしておくべきポイント

- ①規模：お葬式に参列する会葬者の人数、葬儀費用決定の大きなポイント
- ②形式：仏式、神式、キリスト教式、無宗教式など
- ◎場所：自宅、斎場、お寺、会場など、規模に関係

この3つについて、自分の要望をまとめておくだけでも、いざというときに役に立ちます。葬儀社での事前相談では、この3つのポイントを掘り下げながら、自分の考えや思い描いたイメージを葬儀社に伝えて、自分の希望に沿ったお葬式プランを練ることが出来ます。

生前予約をした理由

- 「自分が亡くなったときに、家族に負担をかけたくない」
- 「自分でできることはしておきたい」
- 「自分のお葬式はこんな風にしてほしい」…など

気になるのは、やっぱり費用…

「お葬式は費用が心配」という方は、事前に葬儀社から細部の項目や金額が明記された総費用が分かる見積もりを出してもらって、見積もりをお勧めします。最近葬儀社のホームページ上で人数などを入力するだけで概算の総費用が分かる便利なものもあります。また、「何から準備を始めればいいのか全然分からない」という方は、書店などで購入できる「エンディングノート」を活用してみてください。

いかがでしょうか。残された家族に自分の考えを知ってもらうために大きな意味を持つノートです。「葬儀についての希望は、遺言書に書いてあるから大丈夫」と思っていないませんか？遺言書を開封する手続きに時間がかかり、お通夜や葬儀に間に合わないこともよくあります。そのため、遺言書とは別に「葬儀のための遺言書」を準備して、家族に分かるようにしておけば、自分の意思をお葬式に反映してもらうことが出来ます。

家族に金銭的な負担をかけたくないという人には、月々の掛金でできる「葬儀保険」もあるので、加入することで家族の負担を減らすという方法もあります。「自分のお葬式は、自分が亡くなった時に家族が考えることでは無責任ではないでしょうか。元気なうちだからこそ、自分でできることは自分で準備することが、残される家族への思いやりにつながると思います。」

メールマガジン(無料)配信中

参列マナーから葬儀業界のウラ話まで、皆様に役立つ情報を毎週火曜日に配信中です。ご登録はウェブサイトのトップ画面から簡単にご登録できます。くまもと県民葬祭 検索 www.0077-78-1059.com

今回は「くま経プレス10月号」掲載 (9月28日発行)

テーマ “自分スタイルのお葬式” ってどこまでOK?

このコーナーではみなさんからの葬儀に関する質問・ご意見をお待ちしています。お葉書またはメールにてお寄せ下さい。

〒860-8552 (住所記入不要) 「くま経プレス お葬式講座」係まで
press@kumamoto-keizai.co.jp